



さいじょう

令和3(2021)年2月1日発行

市議会だより

第69号



みずきの
ええとこ発見!



特集 決算審査報告

しめ縄、上手にできたよ!

～周布小学校でのしめ縄作り～

令和元年度 各会計決算認定案を認定 令和2年度補正予算（総額3億1,036万円）を可決

12月
定例会

令和2年第7回12月定例会は11月30日から12月22日まで開催され、議案43件を審議し、採決を行いました。

また、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



自民クラブ

堀江 幸 二議員



- (一般質問)
- 1 市政運営の方向性について
 - 2 新型コロナウイルス感染症について

ワクワク度日本一のまち
第2ステージの抱負は？

問

市長就任第2期目に当たり、どのような抱負を持って市政運営に臨もうとしているのか。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の落ち込みや財政調整基金の取り崩しなどに加え、将来的には起債償還額の増加も予想されるが、本市の財政予測についてどのように考えているのか。

答

都市間競争が激しさを増す中、第2期目は「勝ち残るまち西条」を実現するための重要な4年間になると思っている。厳しい財政状況を踏まえ、将来世代に過度な負担を残すことのないよう、覚悟を持って抜本的な行財政改革を進めるとともに「地域活力の源泉は産業であり」の考えを念頭に置きながら、決して縮こまることなく、西条らしさを前面に出した取組を推進していきたいと考えている。

本市の財政環境については、新型コロナウイルス感染症の影響により法人市民税及び個人市民税の減収が見込まれるとともに、コロナ禍がまだ

終息を見せず、景気動向も不透明なことから、更に厳しさを増すと想定される。一方、道前クリーンセンターの基幹的設備改良をはじめ、小・中学校の長寿命化改修や給食施設の整備など、市民生活に不可欠で、将来に必要な投資として避けては通れない多くの課題に加え、財政調整基金についても、多発化・激甚化する災害の備えとして、一定額を確保しておく必要がある。じゅうぶんな財源確保の見通しが立たない中での財政運営は、非常に厳しい見通しであると認識しているが、多くの課題解決や市民の安全・安心のために備えることを使命として、新任期に臨みたい。



基幹的設備改良を行う道前クリーンセンター

井上 浩 二議員



- (一般質問)
- 1 学校給食の今後の在り方について
 - 2 小松中央公園グラウンドゴルフ場のいのしし被害について

給食センターの整備方針は？

問

平成31年2月に今後の学校給食の在り方について、西条市学校給食運営検討委員会における検討結果を基に、庁内の検討委員会でも更に検討を行い、令和2年11月19日に西条市学校給食施設整備基本計画の方向性を取りまとめた。現在、学校関係者に順次説明を行い、意見を聴取していると聞けが、建設場所や敷地面積、特徴や整備目標など、どのような方針で施設整備をしようと考えているのか。

答

学校給食施設の段階的な集約イメージとしては、第1段階として、5年後に西条地域を配送エリアとする最大調理能力1日4千500食規模の（仮称）東部給食センターを新設し、第2段階として、10年後に東予地域、丹原地域、小松地域を配送エリアとする最大調理能力1日3千食規模の（仮称）西部給食センターを新設するものである。ただし、既にドライシステムが導入されている神拝小学校と東予東中学校は、当面、自校方式の給食施設を継続して使用する。

建設用地は現在検討中であるが、用地選定の条件として、配送校で調理後2時間以内の喫食ができるように配送が可能な位置であること。配送車や食材運搬車の出入りに適した幅員を有する道路に接していること。給食センターは建築基準法上、工場に区分される施設であるため、工業系の用途地域であること。敷地面積は4千500食規模で6千平方メートル以上、3千食規模で5千平方メートル以上が必要であることなどがある。



子どもたちにおいしい給食を

給食センターの新設に当たっては、基本構想で示された5つの整備目標に沿って、安全・安心な学校給食の提供を第一とした衛生管理基準に基づいた施設の整備を行い、栄養バランスの取れたおいしい給食が可能な施設整備を行うとともに、食育推進、アレルギー対策、地産地消などにも取り組むことができ、作業効率のよい施設整備を実施し、安全で効率的な施設体制を目指すこととしている。

今井 廣一 議員



1 (一般質問) いじめ問題について

早期の発見・解決を！

SNSによるいじめ問題

問

SNSを利用したいじめは複雑化・多様化し、見えないところでのいじめが進行する可能性があることから、発見が難しく、いじめを受けた児童・生徒が誰にも相談できず、一人で苦しむことが多いのではないかと考える。

また、いじめをしていないつもりでも、知らぬ間に加害者となっている場合もある。更に、SNSを利用することにより、これまででは考えられないようないじめの拡散・拡大が心配されるが、本市では、SNSを利用したいじめへの対応をどのように行っているのか。

答

SNSを利用したいじめに対し、本市では小・中学校の道徳科で各学年の発達段階に応じた情報モラルの学習をしており、学校によっては、警察署などから講師を招いて講演会を開催し、児童・生徒とその保護者もいっしょに、SNSの危険性について学習している。

また、携帯電話などの家庭での利用について、西条市PTA連合会では「ネット社会から子どもを守る安全宣言」を採択し、家庭への啓発を行っているほか、愛媛県教育委員会作成のチラシや種々の資料などを学校へ配付し、授業や集会などで活用できるようにしている。

こうした取組を継続すること

とで、SNSで拡散することの恐ろしさや、いじめが相手の心を深く傷つけること、そして、著しい人権侵害であることの認識を深めている。

更に、実際にSNSを利用したいじめや誹謗中傷が起こった場合には、再度学校でSNSの使い方の指導を行うとともに、家庭にも協力を呼びかけ、再発防止に努めているところである。

今後は、いじめをなくすこととはもちろん、SNSを利用したいじめや誹謗中傷が起こらないよう、関係機関などと連携した啓発活動を推進するとともに、いじめが起こった際には迅速かつ丁寧に対応できるよう、学校への指導も引き続き行っていきたい。



SNSの利用は慎重に

三好和彦議員



- (議案質疑)
- 1 休日夜間急患センター事業継続支援金について (一般質問)
 - 2 視覚スクリーニング検査について
 - 3 地域猫活動について

子どもたちの視力を守る
更なる検査の徹底を！

問

3歳児健診において、令和元年度から、3歳2か月児を対象とした視覚スクリーニング検査機器による視力検査を行っているが、検査結果はどうか。

また、人間の視力は6歳までに形成されることから、検査に取りこぼしのないよう、更なる周知や検査対象の拡大に取り組む考えはないのか。



視覚スクリーニング検査の様子

答

自宅での視力検査と比較して、精度の高い検査ができていると考えており、令和元年度は、視覚スクリーニング検査で40名が要精密検査となり、その後、32名が視力異常と診断された。

検査対象の拡大については、3歳未満ではスクリーニングの精度が不確実なため、低年齢児に拡大する予定はない。また、令和2年度からはより適切な検査に向け、検査対象時期を日本小児眼科学会が提言する3歳6か月に変更している。今後は、更なる周知に向け、1歳6か月健診時に、視力検査の助けとなる参照動画の周知について検討したい。

西条自民クラブ

児玉千春議員



- (一般質問)
- 1 第2期目に向けた市長の思いについて

第1期目の総括を！

問

玉井市長は、4年前「ワクワク度日本一のまち西条」の実現を公約の柱に掲げて市長就任後、人口減少・少子高齢化の進展、自然災害の増加と激甚化など、多くの障壁に対し、常に市民ファーストの目線で市政運営に取り組んできた。その結果全国的にも注目される自治体として高い評価を受け始めており、これからの西条市にとって明るい光が差していると感じている。



市内各所で行われるタウンミーティング

一方、感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の影響も危惧されている。市長が訴えたかった思いと、玉井市政第1期目を振り返っての総括について問う。

答

市長職という重責を担うようになって以降、激化する都市間競争を勝ち抜くべく、リーダーとしての洞察力と判断力、そして決断力を求められていると強く意識しながら、政策課題と向き合ってきた。「足は現場に」との信念の下、より多くの市民と会いながら、貴重な意見や要望を聞かせていただいたことが糧になっている。市長としての最大の責務は、

公約実現への決意は？

問

市長は今期、第1期目同様、①市民役の西条の実現、②住みたい西条の実現、③夢が持てるまち西条の実現、④つながり広がる西条の実現、⑤市民と進める行政改革の実現、という5つの基本政策に基づく新たな施策16項目を公約として掲げており、本市の財産を次の世代に引き継ぎたいという、市長の熱い思いを強く感じる。本市の財政状況や、新型コロナウイルス感染症がまんえんしている現状で、持続可能なまちづくりに対する考えを踏まえつつ、市長がこの5つの公約に込めた決意について問う。



市民の憩いの場の創出を

答 基本政策5項目については、これまでの取組を第2ステージに引き継ぐとともに、①本市の財産である自然環境、市民の暮らしを守るための森づくり、②高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすための地域包括ケアの充実と、市民の憩いの場の創出、③子どもたちが光り輝くための教育環境の実現に向けた取組の推進、④台湾との交流の深化による販路拡大、⑤公共施設の再編整備推進による更なる行財政改革と、市窓口業務一元化及び行政手続きオンライン化などに取り組みみたい。併せて、自然災害や感染症などの危機事象への対応能力の高い防災都市の構築を新たに掲げた。今後は、目指す市勢発展、住民福祉の増進に向け、まっすぐひたむきに走り続けたい。

施策の推進や職員の人材育成という面も含め、これまでの人事交流で得た成果と課題をどのように検証しているのか。また、市長が市政のかじ取りを担う今後の4年間ににおける人事交流については、どう考えるのか。



派遣先で業務を行う西条市職員

問 本市が長年にわたって取り組んできた国・県などとの人事交流により、全国的に注目される移住促進事業や小・中学校ICT教育など、さまざまな場面で効果が表れてきている。施策の推進や職員の人材育成という面も含め、これまでの人事交流で得た成果と課題をどのように検証しているのか。また、市長が市政のかじ取りを担う今後の4年間ににおける人事交流については、どう考えるのか。

**職員育成のため
継続した人事交流を！**

- 1 職員の人事交流について
- 2 西条市学校給食施設整備基本計画について



高橋 保議員

答 国・県などへの派遣については、職員の資質向上や意識改革、事務遂行上のノウハウ習得、組織間のネットワーク構築などを目的に「将来への投資である」と考え、積極的に実施してきた。その結果、職員の成長はもとより、派遣先との強力な連携や緊密な情報交換につながっており、これらが大きな成果であったと考えている。その反面、派遣職員数が多いことが、本市で起こる行政課題や危機管理事象に迅速かつ的確に対応していく上での課題となっていることも事実である。また、大規模災害などの発生により、派遣先における危機管理対応など貴重な経験ができる一方、当初想定していた

業務や研修がじゅうぶんにえないといった課題もある。今後については、国・県などの人事交流は、将来の本市のまちづくりの中心的な存在となりえる人材の育成、また、派遣先との関係構築の上でも非常に有効な手段であることから、事業推進の有効性などを見極めながら取り組んでいきたい。

問 学校給食は、児童・生徒たちの食への正しい理解と適切な判断力を養い、心身の健全な発達に資するなど、学校教育の一環としてたいせつな役割を担っている。また給食は、学校関係者にとって関心が高い分野であり、西条市学校給食施設整備基本計画を策定する際には、関係者に対して丁寧な説明と理解を得る努力が重要であると考え。計画策定に向け、説明会などの開催やパブリックコメントの実施など、どのようなスケジュールで進めていくのか。

**安全・安心な給食を
将来の子どもたちへ！**

今後は、令和3年2月頃まで説明会などを開催し、関係者から聴取した意見を参考に、庁内検討委員会や教育委員会において年度内に西条市学校給食施設整備基本計画(案)を取りまとめる。その後、令和3年4月頃からパブリックコメントを実施し、広く市民から意見を募集することとしており、その意見を反映して、令和3年6月頃を目的に、西条市学校給食施設整備基本計画を策定する予定である。

答 計画策定に向け、令和2年11月19日から、学校関係者や給食関係者への説明会を順次開催し、参加者からの意見を取りまとめているところである。



現在使用されている給食調理室

西条みらい
クラブ

御 莊 秀 樹 議員



（一般質問）
1 避難行動要支援者名簿
に基づく個別計画につ
いて

今後の策定方針は？

問 平成25年の災害対策基
本法改正により、市町
村は、高齢者や障がい者など、
避難の際、特に配慮を要する
かたについて、避難行動要支
援者名簿を作成することが義
務付けられた。個別計画は、
その対象者一人一人に対し、
避難方法を事前に決めておく
ものであり、策定は努力義務
であるが、本市の策定状況と
今後の策定方針はどのように
なっているのか。



日頃から訓練することで適切に避難を

答

本市では、平成19年度
に名簿作成を実施して
おり、その後も法改正に合わ
せて避難行動要支援者制度に
対応している。令和2年5月
1日現在、要支援者1万4千
48人のうち、個別計画を策定
したかたは406人で、策定率は
約2・9パーセントである。
現在、庁内にワーキンググ
ループを設置し、正確な避難
行動要支援者の把握や避難の
実効性確保に向けた計画の策
定方法について検討を行うこ
ととしている。避難行動要支
援者が適切に避難するためには、
市民の理解と協力が必要と
なることから、引き続き広
報を実施するとともに、関係
団体などの参画を得られるよ
う、検討を進めたい。

真 鍋 頭 伸 議員



（一般質問）
1 黒瀬ダム事前放流の運
用開始について
2 西条市水防計画につ
いて
3 西条市国土強靱化地域
計画について

事前放流運用開始
その周知は？

問 事前放流の運用開始に
伴い、水利権を有する
団体に対してどのような周知
を行うのか。

答 県では、県公営企業管
理局及び住友共同電力
株式会社との間で治水協定を
締結している。その他の水利
権を有する団体については、
令和3年度の黒瀬ダム水防連
絡協議会において説明を実施
すると聞き及んでいる。

佐々木 充 議員



（一般質問）
1 アフターコロナにおけ
る取組について

事業者の支援を！

問 アフターコロナの世界
では、事業者の人材及
び販路・売り上げ確保が重要
だが、支援する考えはあるか。

答 人材確保については、
令和3年3月に、市内
企業を対象としたオンライン
による合同企業説明会を実施
したいと考えている。

また、販路・売り上げの確
保については、オンラインビ
ジネスの手法に関するセミ
ナーを開催するほか、国・県
などの補助金を活用し、支援
に努めている。今後も事業者
が社会変動に対応できるよう、
支援を検討していきたい。

公明党
西条市議員団

越 智 絹 恵 議員



（一般質問）
1 生活困窮者等への居住
支援について
2 行政手続きにおける押
印廃止及び書面主義の見
直しについて

居住支援の充実を！

問 空き家が増える一方、
居住支援が必要なかた
は増加している。またコロナ
禍において、住居確保給付金
の利用が増加し、給付終了後
の対策も問題となっている。

そこで、住居確保給付金、
生活保護に続く支援として、
住宅セーフティネット制度を
活用した家賃低廉化補助を行
う考えはないのか。

鳥獣害対策にドローンを！

城戸 力 議員



- (議案質疑)
- 1 団体営震災対策農業水利施設整備事業について (一般質問)
 - 2 移住促進について
 - 2 鳥獣害対策について

答 本制度は、民間の空き家・空き室を活用し、高齢者などの住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として登録する制度である。県内の登録戸数は175戸となっているが、本市での登録はされていない。また、家賃低廉化補助は、県内自治体において導入実績がない状況である。制度の導入については、西条市公営住宅等長寿命化計画との整合性を図りながら、研究していきたい。

日本共産党 西条市議団

青野 貴 司 議員



- (一般質問)
- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 2 企業立地促進奨励金について
 - 3 子どもの医療費助成について

問 猫友会の会員数減少や高齢化対策としてのドローンの使用について、どのように考えているのか。

答 ドローンの使用により追いつけ活動の省力化などが可能になる。しかし、操縦にある程度の技術を要するなどの問題もあるため、導入の可能性について、調査・研究していきたい。

中小業者に支援給付を！

問

新型コロナウイルス感染症の感染拡大第3波により、営業も雇用もいっそう厳しさを増す恐れが強まっているが、これまで国において実施された支援策はじゅうぶんとは言えなかった。

本市では令和2年8月まで頑張ろう！小規模事業者・農林水産事業者応援給付金支給事業を実施したが、事業終了後に経営が悪化した事業者には支給されない。第2弾の支援給付を行う考えはないか。

答

新型コロナウイルス感染症による影響が出て以降、継続して企業に聞き取り調査を実施し、市内事業者への影響把握に努めるとともに、資金繰りや給付金の支給、雇用の維持、消費喚起など、各種支援策を講じてきた。今後においても、現在進めている支援策を着実に展開するとともに、適時的確に対応できるように経済状況や国・県の動向を注視しながら、事業者が必要とされる施策の検討に努めたい。

山地 美知一 議員



- (一般質疑)
- 1 買い物難民への対応について
 - 2 ごみ対策について

買い物弱者対策の取組を！

問

国道11号の加茂川橋以西にはスーパーが氷見に2つあるだけで、買い物に不便な状況である。買い物弱者対策について、どう取り組んでいくのか。

答

本市では、スーパーな自治組織による買い物ツアーを実施しているが、今後も高齢者を中心とした買い物弱者の増加が想定されるため、引き続き、地域住民や民間事業者と連携を取りながら、公共交通も含め、地域の特性に応じた課題解決に努めたい。

会派に 属さない議員

高橋 章 哲 議員



- (一般質問)
- 1 石鎚藩札について
 - 2 安心・安全な農業の推進について

除草剤の危険性を問う！

問

グリホサート系除草剤は、発がん性や胎児の発育など、人体への影響が指摘されているが、どのように認識しているのか。

答

報道により、人体への問題が指摘されていることは承知しており、県やJAなどと連携し、使用者に対し、使用基準の遵守や飛散防止などの徹底について、働きかけたいと考えている。

総務委員会・分科会での主なQ&A

12/10 開催
付託議案 9件

債務負担行為補正 (広報紙配布等委託料)

Q 業者に委託する理由は？

A これまでは、折り込みをシ
ルバー人材センターに委託
し、配布を主に自治会に依頼し
ていたが、自治会未加入世帯に
配布ができていないことや、高
齢化などによる配布者不足への
対応及び経費の削減を図るため、
令和3年度から業者へ委託しよ
うとするものである。



令和3年度から配布方法が
変更される広報さいじょう

Q 経費削減の見込み額は？

A 予算ベースで比較した場合、
令和2年度に比べ、令和3
年度は約800万円の経費削減が見
込まれる。

工事請負契約の締結

Q 総合評価落札方式を採用し
た理由は？

A 平成30年12月定例会の総務
委員会で、工事請負契約に
ついては入札結果に疑念を抱か
れないような入札方法を検討さ
れたいとの要望があったこと、
更に、国土交通省も総合評価落
札方式の実施拡大を進めている
ことから、予定価格が1億5千
万円以上の入札については、工
事の性質や目的を考慮しつつ、
基本的に総合評価落札方式を採
用する方向であり、本工事につ
いても総合評価落札方式を採用
した。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

12/11 開催
付託議案 8件
願 1件

西条市総合体育館等の 指定管理者の指定

Q 施設の適正使用に向けた考
えは？

A 市内外の利用者負担の公平
性や施設使用料の減免など、
課題は多いが、施設の公平な利
用に向けて、指定管理予定者に
しっかりとした取組を行うよう
指導したい。また、65歳以上を
対象とする減免規定と併せ、施
設単独の減免規定についても、
今後研究したい。

Q 対象となっていない施設が
ある理由は？

A 全ての体育施設を指定管理
者に委託するよう協議・検
討を重ねてきたが、管理実態な
どから、当面の間は市が管理す
べきと判断した。今後の方向性
については、今回指定する施設
が指定管理の更新を迎える3年
後を目途に、公共施設の見直し
なども踏まえて検討したい。

体育施設感染症予防事業

Q 機器の選定理由は？

A 導入を予定している移動式
の大型冷風機は、既に公共
施設などにおいて多数の導入実
績があり、導入している施設な
どへ問い合わせた結果、じゅう
ぶんな風量が期待され、スポッ
トクーラーと比較して電気代も安
価なことから、災害時の避難場
所となる、空調設備のない体育
施設への導入を決定した。



導入予定場所である総合体育館格技室



中川分団の詰所兼蔵置所

A 桜樹分団と中川分団を統合することにより、桜樹地区の消防団員数は減少することになるが、中川分団は統合前より大きな組織で活動することになるため、初動時の参集や交代要員の確保など、消防力の向上と活動環境の改善などにつながるものと考えている。

Q 統合による影響は？

西条市消防団条例の一部を改正する条例

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

12/11 開催
 付託議案 5件
 請願 1件

Q 団員定数と、実員数についての考えは？

A 今回の条例改正では、全体的な定数の見直しまでは盛り込んでおらず、現状の消防団員定数維持を目標に、団員の勧誘に努めている。

また、消防団活性化委員会においても、入団促進対策についての協議を行い、いっそうの入団促進に取り組みたいと考えている。

ふるさと納税促進事業

Q 増額した理由は？

A 全国的にふるさと納税制度の周知が進んだことで、本市への寄附額も増加傾向にあり、当初7億円であった寄附見込額が、令和2年度末で9億円まで増加すると見込んでいる。更に、最終的に9億円を上回ることも想定されることから、事業者への支払いに支障をきたさないよう関係予算を増額した。

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

12/10 開催
 付託議案 13件

四国鉄道文化館設置及び管理条例の一部を改正する条例

Q 開館時間短縮の理由は？

A 入館者数を調査した結果、午後5時から午後6時までの入館者は全体の1パーセント程度であり、開館時間短縮による収入減少額は11万5千円程度であるが、電気代や人件費などで113万円程度の経費削減が見込まれるため、閉館時間を現在の午後6時から午後5時に変更する。

今回の変更は、全庁的な見直しにより開館時間の短縮を行うものであり、他の多くの施設の閉館時間が午後5時であることや利用者の多くが子どもであることから、影響は小さいものと判断している。今後もコスト削減を図るとともに、サービス維持に努め、持続可能な施設運営を目指したい。

農地中間管理機構集積協力金交付事業

Q 事業内容と実績は？

A この事業は、経営転換又はリタイアする農業者の農地を有効活用するため、農地中間管理機構に農地を貸し付けた場合に協力金を交付するものである。

実績については、平成26年度の制度発足以来、累計で約87・7ヘクタールの集積実績があり、今後も本事業を活用したいと考えている。



農地を有効活用して農業の振興を

12月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議案第89号	令和元年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案第122号	西条市水道事業の設置等に関する条例及び西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第90号	令和元年度西条市水道事業会計決算の認定について		議案第123号	西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について		
議案第91号	令和元年度西条市病院事業会計決算の認定について		議案第124号	西条市消防団条例の一部を改正する条例について		
議案第102号	令和2年度西条市一般会計補正予算(第9回)について	原案可決	議案第125号	西条市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について		
議案第103号	令和2年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について		議案第126号	令和2年度西条市一般会計補正予算(第10回)について		
議案第104号	令和2年度西条市簡易水道事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第127号	令和2年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)について		
議案第105号	令和2年度西条市小松地域交流事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第128号	令和2年度西条市介護保険特別会計補正予算(第3回)について		
議案第106号	令和2年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1回)について		議案第129号	令和2年度西条市簡易水道事業特別会計補正予算(第2回)について		
議案第107号	西条市総合体育館等の指定管理者の指定について		議案第130号	令和2年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第1回)について		
議案第108号	西条市産業情報支援センターの指定管理者の指定について		議案第131号	令和2年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2回)について		
議案第109号	西条市食の創造館の指定管理者の指定について		議案第132号	令和2年度西条市一般会計補正予算(第11回)について		
議案第110号	西条市総合文化会館及び西条市丹原文化会館の指定管理者の指定について		議案第133号	工事請負契約の締結について		
議案第111号	字の新設及び小字の廃止について		議案第134号	財産の取得について		
議案第112号	市道路線の一部廃止について		議案第135号	令和2年度西条市一般会計補正予算(第12回)について		
議案第113号	市道路線の一部廃止について		議案第136号	副市長の任命について		同意
議案第114号	市道路線の一部廃止及び認定について		議案第137号	監査委員の任命について		
議案第115号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について		議案第138号	公平委員会委員の任命について		原案可決
議案第116号	西条市子育て交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について		委員会提出議案第4号	西条市議会会議規則の一部を改正する規則について		
議案第117号	西条市食の創造館設置及び管理条例の一部を改正する条例について		委員会提出議案第5号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備を求める意見書について		
議案第118号	四国鉄道文化館設置及び管理条例の一部を改正する条例について		委員会提出議案第6号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業の推進を求める意見書について		—
議案第119号	十河信二記念館設置及び管理条例の一部を改正する条例について		選挙第3号	西条市選挙管理委員及び同補充員の選挙について		
議案第120号	西条市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について		請願第14号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願		採択
議案第121号	西条市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	請願第15号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業の推進を求める請願			

議員別 議案等賛否一覧表

上表は、議案などの審議結果ですが、下表には、賛否が分かれた議案などの状況を掲載しています。(現議員数29名)

議員名	議案等 (賛成:反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		佐々木 充	真鍋 伸	佐伯 利彦	城戸 力保	高橋 武彦	藤井 武彦	三好 和彦	今井 廣一	井上 浩二	(欠員)	御 狂 秀樹	山 地 美知一	岡 村 重治	越 智 絹恵	川 又 由美恵	行 元 博	白 坂 均	坪 井 剛	西 坂 壽	越 智 俊幸	高 橋 章哲	伊 藤 新平	青 野 貴司	武 田 功	児 玉 千春	一 色 輝雄	楠 學	堀 江 幸二	藤 田 節雄	伊 藤 孝司
議案第89号	26:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	24:4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議	○	○	○	○
議案第126号	24:4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議	○	○	○	○
委員会提出議案第5号	25:3	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
委員会提出議案第6号	27:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	○	○	○	○
請願第14号	25:3	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○

※ ○: 議案などに対して賛成 ×: 議案などに対して反対 ※ 一色輝雄議員は、議長職のため表決に加わっていません。



令和2年10月27日に開催された令和2年第6回10月臨時会において、市道加茂24号線の災害復旧に要する経費及び本谷温泉館の指定管理委託料に関する補正予算議案、本谷温泉館の指定管理者の指定に関する議案の計3件について審議を行いました。

審議結果

◇議案第99号
令和2年度西条市一般会計補正予算(第8回)について
原案可決

◇議案第100号
令和2年度西条市本谷温泉事業特別会計補正予算(第1回)について
原案可決

◇議案第101号
西条市本谷温泉館の指定管理者の指定について
原案可決

決算審査報告

令和元年度 決算をチェック!



東予港の現地調査

決算審査とは、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかということ審査するものです。

令和元年度各会計の決算議案3件について、本市議会では、決算審査特別委員会を設置、令和2年9月28日から9月30日までの3日間で関係箇所の現地調査及び書面審査を行い、12月定例会初日(令和2年11月30日)に、いずれも認定しました。

このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。



移住促進事業の成果は?

移住フェアなどでのPRにより、移住検討者の注目を集めることができた。体験ツアーでは、1人の職員が1家族専属の移住コンシェルジュとして担当し移住希望者と信頼関係を構築するとともに、SNSを活用した戦略などにより、2年間で10組28人が本市へ移住している。

産前産後ヘルパー派遣業務委託料が増額した理由は?

授乳やおむつ交換などの育児支援、食事準備などの家事援助を希望するかたに対し、子育てモバイルサービスなどによりPRを行った結果、想定以上の利用申し込みがあったことから、大幅な増額となった。

ローカルベンチャー誘致育成事業委託料の成果は?

地域おこし協力隊の令和元年度売り上げ合計額は約1,000万円で、空き店舗を活用した各起業家の拠点が市内6か所に整備されるなど、地域経済活性化に一定の効果が表れ始めている。また、多数のメディアで紹介されるほか、チャレンジを支援するしくみが構築されつつある。

西消防署河北出張所完成による効果は?

令和元年10月の開所から令和2年8月までの河北出張所近隣地区である三芳、楠河、庄内の3地区における出動件数は228件であり、覚知から現場到着までの平均時間を12.5分から8.9分に短縮することができたことから、河北出張所を含めた高規格救急車6台体制による効果が表れている。

国へ意見書を提出しました

12月定例会最終日(令和2年12月22日)に、委員会提出議案として次の2件の意見書案が提出され、審議の結果、原案可決し、内閣総理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

■ 地方たばこ税を活用した分煙環境整備を求める意見書【要旨】

地方たばこ税を活用した分煙環境の整備に向けて、下記の事項が実現できる制度の整備に取り組むよう強く要望する。

記

- 1 地方たばこ税の一部を活用し、公共喫煙場所の増設・維持を積極的に進めること。
- 2 地方たばこ税の一部を活用し、飲食店等が取り組む屋内喫煙室設置の助成を目的とした事業に充当すること。
- 3 地方たばこ税の一部を活用し、喫煙マナー向上に関する普及啓発など「分煙環境整備の推進」を目的とした事業に充当すること。
- 4 地方たばこ税を分煙環境整備に活用できる制度の整備をすること。

■ ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業の推進を求める意見書【要旨】

ライドシェアの導入は、道路運送法、道路交通法及び労働基準法等のさまざまな法令を遵守し、市民に安全・安心な輸送サービスを提供するタクシー事業の根幹を揺るがすとともに、平成25年11月に議員立法により改正された「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」の意義を大きく損なうものでもある。

よって、国において下記事項について必要な措置を講ずるよう、強く要望する。

記

- 1 市民の安全・安心に極めて大きな懸念のあるライドシェアを導入しないこと。
- 2 公共交通の役割を担っているタクシーが、より安全・安心で快適・便利な交通機関として利用することができるよう、必要な諸施策を講ずること。

副市長及び

各種委員の任命

次のかたがたをそれぞれ任命することに同意しました。

副市長

越智三義氏

監査委員

東元道明氏

公平委員会委員

村上和也氏

選挙管理委員及び

同補充員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われ、選挙の結果、次のかたがたがそれぞれ当選されました。

選挙管理委員

藤原孝司氏

伊藤健一氏

村上徳穂氏

同補充員

徳永米子氏

一色雅典氏

植木裕康氏

編集後記

2月、暦の上では立春の日から春を迎えますが、実際には思わず「春は名のみ」と口ずさみたくなるような寒い日が続きますね。早春賦の歌詞にあるように、鶯はまだ巢の中で、暖かくなり春を告げる日が来るのをじっと待っているところでしょうか。

鶯の美しいさえずりが聞こえる頃、私たち市議会は新しいスタートを切ることになり、議会だよりの編集も次号から新しい委員に引き継ぎます。今後とも、ご愛読を賜りますようお願い申し上げます。

市議会だより編集委員会

委員長 児玉千春

副委員長 岡村重治

委員 越智秀樹

委員 伊藤元恵

委員 青藤新平

委員 楠野貴司

委員 伊藤節雄

委員 藤田孝司